駒澤大学高等学校サッカー部
『Club　Guidebook（2020）』



全国高校サッカー選手権大会出場(2010・2015・2016・2018)

駒大高校サッカー部最新ニュース

2016卒部生「佐藤瑶大選手」 J1ガンバ大阪　加入内定！





駒澤大学高等学校サッカー部卒、**佐藤瑶大**(さとうようた)**選手**（現在明治大学4年生）が、**J1ガンバ大阪に加入内定**しました！

【■サッカー歴】

羽衣サッカークラブ ⇒ 立川エルフFC⇒ FC多摩ジュニアユース⇒ 駒澤大学高等学校 ⇒ 明治大学（現：4年生）

【■代表歴】

2017年 日本高校選抜　2020年 全日本大学選抜チーム

佐藤瑶大選手は、FC多摩ジュニアユースから2014年に駒大高校に入学。明るいキャラクターで、高い打点のヘディングを武器に2年次から不動のCBとして活躍。第94回、95回の全国高校サッカー選手権大会で2年連続Best8の原動力になった選手です。個人的にも2年連続で高校選手権大会優秀選手に選出され、3年次には日本高校選抜に選出されました。卒業後は「明治大学」に進学し、関東大学サッカーリーグ等で活躍、着実に力をつけていきました。高校時代から目標にしていたプロの世界で更なる活躍を見せてくれることを期待しています！これからも、佐藤瑶大選手の応援をよろしくお願い致します！

2020年度 「関東Rookie League U-16 」 参戦決定！！

関東ルーキーリーグの改革に伴い、駒大高校U16のルーキーリーグ関東参戦が決定しました。駒大高校は新規参入のCリーグからの参戦となります。詳細は「関東Rookie League U-16 」HPよりご確認下さい。
ルーキーリーグのトップリーグにあたるAリーグには、「前橋育英高校」「流通経済大学柏高校」「桐光学園高校」「静岡学園高校」「市立船橋高校」などの日本一経験のある強豪校が参戦しています。
高校1年生から全国の強豪校との真剣勝負での公式戦の経験を積んでいくことができます。高い強度の質の高いゲーム経験を通じて、1年生から全国での戦いを見据えた強化をしていきたいと思います。

ジャパンユースプーマスーパーリーグ　グループ第2位

1月に開幕したジャパンユースプーマスーパーリーグにも新規参戦。全国の強豪校が集う本大会で、駒大高校は2020．3月現在、サンフレッチェ広島ユースに次いで「第2位」につけています（詳細はJYPSLのホームページ参照）。市立船橋高校や富山第一高校との対戦を経験しながら新シーズン前に高い強度のゲームを繰り返し、成長することができました。

駒大高校サッカー部　クラブ経営理念

1．文武両道

2．サッカーを通じた人間形成

3．全国トップレベルのチーム作り

サッカーを通じて『人生』を学ぶ

駒大高校サッカー部は、人間としてもサッカープレーヤーとしても本気で向上していくことを目指す志の高い集団です。学校生活をはじめ、人としての質を追及し、その上でサッカー選手としての質を追及していくことを目指しています。

日常生活も常に一緒にいる『学校スポーツ』の良い部分を最大限に生かした活動をしていきます。
サッカー部の活動を通じて学んだことは人生における財産となり、一生の宝物となります。

スローガン

自立　団結　信頼

『素早いプレスと素早いパスサッカー』で日本一を目指す

「自立・団結・信頼」をスローガンに、技術や体力だけでなく、**『心・技・体＋生活』**の質を総合的に鍛え、サッカー選手としても人としてもトップレベルを目指して精進しています。**目指すは日本一**のチームです。

駒澤大学の付属高校

『大学入試改革』『安心の付属高校』

約70%の生徒が駒澤大学に内部進学します。駒大希望者はほぼ全員が駒澤大学に内部進学できます。他大学に進学する生徒もおり、進学率は98%になります。**3年間部活動を真剣に継続しながらも、駒澤大学進学や他大学受験が可能**な事が大きな特徴です**（サッカー部の進学実績は非常に高いレベルです）**。

ハイレベルの文武両道

私たちは『本物』の文武両道を目指します！！

クラブ内の「学習指導係」を中心に学力向上にも力を入れています。学習面においても学年で上位に入る部員が多数在籍しています。TOPチームに入れない部員も、文武両道に関してはTOPレベルを目指して精進しています。大学進学を視野に入れ、長期的視野で**『サッカー・学業・人間形成』に真剣に取り組んでいくことができるのが駒大高校の大きな特色**です。高いレベルの文武両道の実現を目指します。

駒澤大学サッカー部

駒高出身者が関東大学リーグ1部の駒大で多数活躍

駒澤大学体育会サッカー部は、大学サッカー界をリードする存在です（2010年度総理大臣杯全日本大学サッカートーナメント優勝）。全国から優秀な選手が集まり、毎年、Jリーガーをコンスタントに輩出し、日本代表選手も送り出している駒大サッカー部と毎日同じグラウンドでトレーニングしています。駒大高校の卒業生も数多く駒大サッカー部に入部し、高いレベルで活躍しています。

卒業生の声『駒大高校に入学してよかった』

部員たちは、365日、24時間体制で『目標達成』『自己改革』のために精進しています。
遊ぶ時は全力で遊び、寝る時は全力で寝る、食べる時は全力で食べ、全力でトレーニングを行います。
濃密な三年間を自分自身でマネジメントしていき、**『精一杯』**の高校生活を過ごしています。
最後の卒部式では**『駒大高校に入ってよかった！』**と口にして次のステージに旅立っていきます。

本校では受験生の皆さまに対して「体験練習会」などの様々なイベントを用意しております。
駒大高校の雰囲気を肌で感じていただきたいと思っておりますので、ぜひ一度足を運んでみて下さい。

駒大高校で一緒に『夢』を追いかけてみませんか？

駒大高校サッカー部のご紹介

公式HP　http://www.komakou-soccer.com/

●トレーニング

回数	時間
週6回	16:00～20:00の間で2時間前後

TOPチーム他、全体を複数のグループに分け、練習しています。週に1回オフがあります。練習は曜日や時間、場所で分けて活動しているので全員が活動を行うことができています。チームの入れ替えも随時行われるので全員のモチベーションが高く維持されます。土日はチーム毎にリーグ戦や練習試合が組まれます。

場所

駒澤大学玉川校舎グランド
他　近隣の公共施設

☆1　高校から自転車で約１５分
（授業終了後に移動します）
☆2　人工芝グランド＆４００mトラック
☆3　日本一の大学生と一緒にできる
（グランド半面をお借りしています）
（駒大の選手と同じ場所で練習できます）

●部員

1年生　76名	2年生　73名	3年生　70名	マネージャー　13名

2019年度　は『232名』でスタート

Q. 入部してから辞めてしまう人もいますか？（よくある質問）
A. 決して甘い部ではないので辞めてしまう選手も少数います。しかし、基本的にはAチームBチームに関わらず、全員3年間最後まで継続し、自己改革に努めています。『部員が辞めない』のも特徴のクラブです

『退部しない』『3年間継続する』ことも駒大高校サッカー部の1つの特徴・魅力です。

●サッカー部年間予定

公式大会

◎関東高校サッカー大会予選
◎TFA　T1リーグ（4月～12月）
◎全国高校総体東京都予選（インターハイ）
◎全国高校サッカー選手権大会

平成22・26・28年度　関東大会　東京代表
※2016　関東大会　　本大会　初優勝

2014インターハイ東京都大会『優勝』

第94回・95回全国高校サッカー選手権東京都大会優勝
（2年連続　全国大会ベスト8）

その他の主な活動

合宿・遠征）
○菅平合宿・遠征（8月）　※全員参加強化合宿　フェスティバル参加等
○草津、御殿場等遠征（8月）　※バックアップメンバー強化遠征
○波崎遠征（12月）　※全国ユース招待サッカー大会（全員参加）
○九州遠征等（3月）　※トップチーム強化遠征
○波崎遠征（3月）　※バックアップメンバー強化遠征

リーグ戦）
☆T2・T3・T4リーグ（4月～12月）　※BCDチーム公式リーグ
☆第6地区ユースリーグ　※BCチーム公式リーグ
★関東ルーキーリーグU16　※2020年度より新規参入
★U16ジョガドーリスリーグ　※1年生強化リーグ（関東近郊強豪校とのリーグ）
★U16フレッシュカップ　※1年生強化リーグ（東京）

下級生から厳しい公式戦を経験できる！

施設紹介

高校の施設は狭いため、大学にご協力いただき、工夫しながら充実した活動を行っています

● 駒澤大学玉川校舎グランド （最寄り駅：東急田園都市線　二子玉川　駅）





玉川校舎にはアスリートが集う
☑全国屈指の駒大サッカー部
☑箱根駅伝で有名な陸上部

アスリートの食習慣のために・・・
『駒ダイニング』が夜間営業
☑練習後には、駒ダイニングで夕食をとってから帰宅することも可能。練習と食事で肉体改造！

● 駒澤大学高等学校 （ 校庭 と トレーニングルーム の紹介）






トレーニングルームは、フィジカルトレーニングの際に利用
その他、近隣の公共施設を利用して毎日の活動を行っています

スタッフ紹介

各分野のエキスパートの情熱あるスタッフがサポートします。大所帯をまとめるために多くのスタッフで運営しています。本年度は新たなスタッフも迎え入れ、より充実した体制で活動をスタートしています。

● 顧問・監督 ： 大野 祥司 【駒澤大学高等学校 公民科 教諭】

選手歴：武南高校サッカー部→青山学院大学サッカー部
〔高校〕第68回全国高校サッカー選手権大会 全国大会準優勝
〔大学〕インカレ・総理大臣杯全国大会ベスト8
〔個人〕U21日本ユース代表（ワールドユースアジア最終予選出場）、日本高校選抜、埼玉国体選抜

● 顧問・ヘッドコーチ： 亀田 雄人 【駒澤大学高等学校 公民科 教諭】

選手歴：駒澤大学高等学校サッカー部→駒澤大学体育会サッカー部
指導歴：2004～ 現在 ･･･駒澤大学高等学校サッカー部
取得資格：日本サッカー協会公認B級コーチ 日本サッカー協会公認3級審判員

● 顧問・U16コーチ ： 蒲原 隼一郎 【駒澤大学高等学校 地歴科 教諭】

選手歴：駒澤大学高等学校サッカー部→駒澤大学体育会サッカー部
指導歴：2005･･･2005～2014 駒澤大学附属岩見沢高等学校 サッカー部 監督
2014～現在 駒澤大学高等学校サッカー部
取得資格：日本サッカー協会公認C級コーチ 日本サッカー協会公認3級審判員

● 顧問・GKコーチ ： 園部 大介 【駒澤大学高等学校 事務職員】

選手歴：鹿島アントラーズユース→日本文理大学サッカー部
指導歴：2010～2013 ･･･駒澤大学高等学校サッカー部GKコーチ
2013～2015 ･･･鹿島アントラーズジュニアユースGKコーチ
2015～現在 ･･･駒澤大学高等学校サッカー部コーチ
取得資格：日本サッカー協会公認B級コーチ 日本サッカー協会公認4級審判員

● コーチ ： 長澤 卓己【 J3 YSCC横浜 現役選手 】

選手歴：駒澤大学高等学校サッカー部→日本体育大学サッカー部→ドイツ留学
2019～ ･･･ J3 YSCC所属（現役選手）
指導歴：2019～現在 ･･･駒澤大学高等学校サッカー部コーチ

● コーチ ： 江川 高輔 【駒澤大学高等学校サッカー部コーチ】

指導歴：2018～現在 ･･･駒澤大学高等学校サッカー部コーチ
取得資格：日本サッカー協会公認C級コーチ

● フィジカルコーチ ： 庄司 竜太郎 【駒澤大学高等学校サッカー部】

指導歴：2012～ 現在 ･･･ 駒澤大学高等学校サッカー部
取得資格：日本体育協会公認アスレティックトレーナー

● トレーナー： 儀間 禎平 ・ 鯉渕 弘基 ・ 福岡 寛啓

<u>その他、アシスタントコーチ、充実のトレーナー陣を含め、総勢16名で指導</u>

GKトレーニング、フィジカルトレーニング、怪我人のリハビリなどにもきめ細やかに対応。全カテゴリーにコーチングスタッフが配置され、入れ替えも頻繁に行うのでモチベーションを保った状態で活動を行うことができます。怪我をした場合なども4名のトレーナーの下でトレーニングを行い、レベルアップして復帰することができます。情熱あるスタッフの指導の下、各カテゴリーで自分を磨いていくことができます。

<u>『学校の教員』が中心となり、学校教育の良い部分を最大限生かした指導を行っています</u>

過去の主な戦績（駒大高校の戦績のあゆみ）

2010年度に初めて全国高校サッカー選手権大会出場を決め、全国大会ではベスト16という成績。
2014年度にはインターハイ東京都大会で初優勝し、初めて総体全国大会出場を決めた。
2015年度には2度目の選手権出場を果たし、第94回全国高校サッカー選手権大会で全国大会の舞台でベスト8という成績を残した。
2016年度は、関東高校サッカー大会で本大会初優勝した。その後、第95回全国高校サッカー選手権大会では全国大会2年連続ベスト8という成績を残した。
2018年度は、第97回全国高校サッカー選手権大会に4回目の出場を果たした。近年急成長のクラブ。

2010年度	第89回全国高校サッカー選手権大会　東京都大会　優勝 ※全国大会ベスト16
	TFA　T1リーグ優勝（プリンスリーグ関東昇格） 関東高校サッカー大会東京都都大会『優勝』
2011年度	高校選手権東京都大会　ベスト4　・　プリンスリーグ関東
2013年度	高校選手権東京都大会　準優勝　・　TFA　T1リーグ第2位
2014年度	関東高校サッカー大会東京都大会　準優勝
	インターハイ東京都大会　優勝
2015年度	第94回全国高校サッカー選手権大会　東京都大会　優勝 ※全国大会ベスト8
2016年度	関東高校サッカー大会東京都都大会『優勝』 （関東高校サッカー大会本大会　『優勝』）
	第95回全国高校サッカー選手権大会　東京都大会　優勝 ※全国大会2年連続ベスト8
2018年度	第97回全国高校サッカー選手権大会　東京都大会　優勝 ※全国大会は開幕戦で敗退

9年間で4回の高校選手権出場（直近5年間で3回の出場）を達成

『東京を制し、全国を制す』

ここ数年で大きく伸びているチームです

2005年度にTFA Tリーグ U-18が発足。年々、順位を上げていき、2010年度には悲願の優勝を果たし、プリンスリーグへと昇格。その後、戦いの舞台をTリーグに戻すものの、47都道府県の中で最も高い都道府県リーグといわれるTリーグで上位をキープしている。注目は、
セカンドチームがT2リーグに所属し、Cチームが T3リーグに所属し、Dチームが T4リーグに所属していること。上級生だけでなく下級生も、Aチームだけでなく Bチームも緊張感ある公式戦の機会があります。

皆さんの力で新しい歴史の1ページを築いてみませんか

進学実績①

『駒澤大学に進学できる！』
『上位大学にもチャレンジできる！』

『駒澤大学進学』を最低ラインと考えて、**自らの可能性に最大限に挑戦できる**ということが、駒大高校の最大の魅力です。通常授業に集中し、学習していく習慣を身に付け、部活動においても自分の可能性にチャレンジし続けることで**高いレベルでの文武両道**を実現させることができます。

Q.「部活と勉強を両立できるの？」

本物の文武両道を目指します

受験生の皆さんからは、不安の声を聞くことがあります。それは当然の不安だと思います。しかし、選手たちは**文武両道を高いレベルで実践**しようと日々の授業、部活動に精進しています。
サッカー部の選手たちは部活動を通じて、「集中力」や「努力すること」の大切さを学び、それを学業面でも存分に発揮しています。逆に**授業を通じて「人」を磨き、それをサッカーに生かしています。**部活動と学校生活は連動するものであり、自らを向上させるために**「何一つ無駄な時間はない」**ということを学んでいます。通学途中の電車の中で勉強したり、**『隙間時間』の活用**の仕方を工夫することで、高いレベルの文武両道を実現させています。**「勉強」が「サッカー」を伸ばし、「サッカー」が「勉強」を伸ばす**ということを学びます。

【サッカー部員257名のデータ】（2015年1学期中間試験）
- **学年500名中「100位以内」　：56名（ベスト10に7名）**
- 学年500名中「101位～200位」：71名
- ★257名の部員の中、127名が200位以内という学業成績です。

3年間で文武両道のレベルも上がる！！
4～5人に1人は学年100位以内

1年生の頃は環境の変化や部活動による疲労でなかなか両立が難しかった選手も駒大高校サッカー部で活動していくことによって、だんだん**『文武両道の方法』**を学んでいきます。

Q.『駒澤大学には進学できるの？』

駒澤大学進学を確保！！

駒大進学条件　①3年間の評定平均値が3．0以上あること　②成績上位者から希望学科を選択
全体の70～80%が駒澤大学に内部進学します（他大学を含めると進学率は98%）。成績上位者から希望の学部に進学することができますが、サッカー部の選手たちは学業面でも優秀な生徒が多く在籍しており、希望の学部学科に進学することができています。成績優秀者の『奨学生』や学年順位が一桁や二桁の選手も多く在籍しており、**駒澤大学においても高いレベルの文武両道を目指します。**

大学名	学部	学科	入試形態	人数
駒澤大学	文学部	歴史学科	内部推薦	2名
		地理学科	内部推薦	1名
		心理学科	内部推薦	1名
	法律学部	政治学科	内部推薦	6名
		法律学科フレックスA	内部推薦	7名
	経済学部	経済学科	内部推薦	15名
		商学科	内部推薦	2名
		現代応用経済学科	内部推薦	3名
	経営学部	経営学科	内部推薦	11名
		市場戦略学科	内部推薦	1名
	グローバルメディアスタディーズ学部	グローバルメディア学科	内部推薦	7名
全部員の76%が駒澤大学に進学 その他、上位他大学等に24%が進学		内部推薦　合計		56名
		他大学その他　合計		18名
		令和元年度　卒部生合計		74名

ほとんどの生徒が第1希望の学部に進学することができました。駒澤大学入学がゴールではなく、駒澤大学入学後も高いレベルの文武両道を実現させるために、高校3年間で実力をつけていきます。

駒大高校には自分の可能性を最大限に広げるチャンスがあります！！

進学実績②

『駒澤大学に進学できる！』
『上位大学にもチャレンジできる！』

Q.『他大学には進学できるの？』

体育関係や教職関係、医療関係、駒大よりも上位大学を目指したいといった進路希望もあり、他大学受験をする生徒もいます。近年は他大学受験コースから早稲田大学や慶応義塾大学にも合格者が出ています。また、駒大進学コースからも東京学芸大学や青山学院大学、明治大学、立教大学に合格者が出ています（レギュラー選手）。現在も上位校を目指しながら、サッカー部で頑張っている生徒が多く在籍しています（受験コースを選択することも可能）。**『文武両道をハイレベルで実現させる』**ということは部の基本理念でもあるため、全部員が全力で精進しています。そして、それを実現させることができるのが駒大高校の特色です。「志」1つで自らの可能性に最大限にチャレンジすることができます。

Q. 他大学受験時の優遇措置

駒澤大学以外の国公立大学および私立大学を受験する際は、駒澤大学推薦保留制度や併願制度などの一定の優遇措置を設けています。優遇措置の内容は毎年変更があるのでご確認ください。
これらの優遇措置を設け、生徒のチャレンジ精神をバックアップしています。

サッカー部卒業生　他大学・専門学校　合格実績

【国公立大学】
「首都大学東京」、「横浜国立大学」に合格者が出ています（受験コース）。
また、駒大進学コースから「東京学芸大学」にH26～H28までの3年連続で合格者を出しています。

【上位私立大学】
早稲田大学にはH28～昨年度も含めて4年連続で合格者を出しています。
その他、「慶応義塾大学」「明治大学」「青山学院大学」「法政大学」「中央大学」「立教大学」「学習院大学」などの『G－MARCH』を中心とした上位大学にも毎年合格者を出しています。
※部員たちは、サッカーと受験勉強の両立のために大変な努力をしています。サッカーで培った集中力や諦めない精神力、努力レベルを生かして、受験勉強でも大きな成果を出すことに成功しています。

【理系上位大学】
駒澤大学の学部は、「医療健康科学部」を除くと文系の学部となります。「理系」希望者は、受験コース理系に進み、希望大学に受験します。「東京理科大学」「芝浦工業大学」「東京農業大学」「北里大学」「日本大学」「東洋大学」などに合格しています。

【体育大学】
駒澤大学にスポーツは盛んですが、体育学部はありません。体育教員を目指す生徒などは他大学を視野に入れる生徒もいます。早稲田大学のスポーツ科学部や立教大学のスポーツウェルネスへの合格実績がある他、日本体育大学や東海大学などへの進学実績があります。また、駒澤大学で教職免許を取得した後に、他大学の科目等履修生として体育教員免許を1年間で取得する生徒もおります。

【進学実績のポイント（まとめ）】
☑部員の70～80%が駒澤大学に内部進学している（ほとんどが第1希望の学科）
（全体評定平均値3．0を下回ると駒大に推薦されない）
☑他大学受験に関しては、「他大受験コース」「駒大進学コース」、どちらからでも可能。
上位大学合格のためには、どの部員もかなりの努力を積み重ねている
★サッカーを思いきりやりながら、「駒澤大学に進学できる」「他大学にもチャレンジできる」という多様な進路の可能性があるのが、本校のメリットです！

駒大高校には自分の可能性を最大限に広げるチャンスがあります！！

進学実績③

『レギュラーメンバーも文武両道』
『駒大サッカー部で活躍するＯＢ』

以下は、付属高校推薦で駒澤大学に内部進学し、体育会サッカー部で活躍している選手たちの一部です。駒大サッカー部は、毎年Jリーガーを輩出し、関東大学サッカーリーグ1部で活躍する伝統あるチームです。

【4年】 MF　米田　泰盛
（経営学部）
VIVAIO船橋　出身
（船橋市立葛飾中学校）

第95回高校選手権全国大会では、スーパーサブとして活躍し、準々決勝でも得点した。大学ではレギュラーメンバーとして大学リーグにも出場。7年間かけて成長し続けている選手。

【4年】 FW　矢崎　一輝
（経営学部）
大豆戸FC　出身
（横浜市立都田中学校）

第95回高校選手権全国大会では、山梨学院との一戦で得点するなどの活躍。駒大サッカー部では1年次からトップチームに名を連ね、関東リーグでも活躍している。

【4年】 MF　栗原　信一郎
（経済学部）
FC多摩　出身
（府中市立第八中学校）出身

第94回高校選手権全国大会では、サイドハーフとして活躍。派手なプレーヤーではないものの堅実なプレーぶりで全国大会ベスト8進出に貢献。駒大サッカー部でもトップチームで活躍している。

【4年】 DF　安元　奨
（経済学部）
SC相模原　出身
（横浜市立谷本中学校）出身

高校時代は大きな怪我で苦しんだが、駒澤大学で引き続き頑張っているプレーヤー。新シーズンでは、駒大サッカー部の副キャプテンとして活躍している。

駒澤大学体育会サッカー部は、2019年度の総理大臣杯、全国大会にも出場「高校3年間」だけでなく、「大学4年間」も通じて、7年間で自分自身を成長させていくことができる環境があります！

【4年】 MF　三浦　岳文　川崎フロンターレ　出身（横浜市立東山田中学校）出身
【4年】 DF　高野　裕之　品川区立荏原第一中学校　出身
【4年】 FW　由川　航也　習志野市立第二中学校　出身
【3年】 FW　米谷　拓海　FC東京U-15むさし　出身（小平市立第四中学校）出身
【3年】 MF　中村　一貴　FC東京U-15むさし　出身（入間市立向原中学校）出身
【3年】 DF　野中　康平　川崎フロンターレ　出身（横浜市立美しが丘中学校）出身
【3年】 MF　宮嵜　龍飛　町田相原FC　出身（町田市立堺中学校）出身
【3年】 GK　柿沼　優輔　浦和レッズ　出身（さいたま市立上大久保中学校）出身
【2年】 MF　細川　竜征　FORZA‘02　出身　（世田谷区立船橋希望中学校）
【1年】 DF　小林　泰晟　クラッキス松戸出身　（船橋市立芝山中学校）
【1年】 DF　手島　大雅　FC　VIENTAS出身　（新座市立第六中学校）

その他、駒澤大学体育会サッカー部で毎年多くのOB選手たちが活躍しています！

駒澤大学体育会サッカー部の活躍



関東大学サッカーリーグ1部リーグ所属。過去、70名以上のJリーガーを輩出し、2006年W杯日本代表の巻選手などを輩出している。日本の大学サッカー界をリードする伝統あるチーム。2018シーズンは、関東1部リーグで上位に食い込み、天皇杯予選では東京予選で優勝し、東京チャンピオンとして天皇杯本大会に出場した。

【2018シーズンの主なメンバー】

GK	角井 栄太郎	三浦学苑高校	4年
GK	松村 優太郎	長崎総科大附高	3年
DF	鈴掛 涼	清水桜が丘高	4年
DF	須藤 皓生	駒澤大学高校	4年
DF	星 キョーワァン	矢板中央高校	3年
DF	伊勢 渉	神戸国際大附高	4年
DF	真下 瑞都	矢板中央高高校	2年
DF	深見 侑生	駒澤大学高校	3年
MF	大塲 淳矢	藤枝東高校	4年
MF	薬真寺 孝弥	長崎総科大附高	2年
MF	鈴木 隆作	駒澤大学高校	4年
MF	荒木 駿太	長崎総科大附高	1年
MF	宮崎 鴻	前橋育英高校	1年
MF	中原 輝	ルーテル学院高	4年
MF	坂本 和雅	聖和学園高校	4年
MF	安藤 翼	長崎総科大附高	4年
MF	幸野 高士	駒澤大学高校	4年
MF	高田 和弥	セレッソ大阪Y	4年
FW	高橋 潤哉[	モンテディオ山形Y	4年
FW	室町 仁紀	東京Vユース（駒大高）	4年
FW	矢崎 一輝	駒澤大学高校	2年

【監督】

秋田　浩一

☑駒大サッカー部監督としてインカレ優勝など数々のタイトルを獲得

☑2009 ユニバーシアード全日本大学選抜監督

【関東大学リーグ1部】

（2018最終順位）

1位　早稲田大学
2位　筑波大学
3位　法政大学
4位　駒澤大学
5位　明治大学
6位　順天堂大学
7位　東洋大学
8位　流通経済大学
9位　専修大学
10位　桐蔭横浜大学
11位　東京国際大学
12位　国士舘大学

進学実績④

『レギュラーメンバーも文武両道』
『関東大学サッカーで活躍するＯＢ』

2016年度卒業生（他大受験コース）

GK　鈴木　怜
早稲田大学　スポーツ科学部
★関東大学サッカーリーグ1部
（一般入試　合格）
STFC（国立市立第二中学校）　出身

駒大高校の正GKとして、選手権2年連続全国大会ベスト8に貢献した。
1月5日の選手権準々決勝まで高校サッカーを続け、選手権敗退直後のセンター試験を受験し、見事早稲田大学に合格。現在は、早稲田大学サッカー部に所属し、すでに関東大学サッカーリーグのメンバーに名を連ねている。

2016年度卒業生（駒大進学コース）

DF　佐藤　瑶大
明治大学　情報コミュニケーション学部
★関東大学サッカーリーグ1部
（スポーツ推薦　合格）
FC多摩（国立第二中学校）　出身

高い打点のヘディングを武器に2年次から守備組織の中心選手として活躍した。選手権では、2年連続全国大会ベスト8に進出し、**2年連続で大会優秀選手に選出**された。3年次は、**日本高校選抜**のメンバーとしてヨーロッパ遠征に参加した。

2016年度卒業生（駒大進学コース）

MF　武智　悠人
立教大学　経済学部
★関東大学サッカーリーグ2部
（AO入試　合格）
FORZA '02（田無第四中学校）出身

進学した立教大学では1年次からトップチームに名を連ね、関東大学サッカーリーグに出場。
今季もチームの中心として活躍している。

2016年度卒業生（他大受験コース）

DF　村上　哲
慶應義塾大学　経済学部
★関東大学サッカーリーグ1部
（一般入試　合格）
FC府中（府中市立第九中学校）　出身

スケールの大きな左SBとして選手権2年連続全国大会ベスト8に貢献した。
駒大高校には学業成績優秀の「奨学生」として入学。現在は、関東大学サッカーリーグ1部の慶應義塾大学ソッカー部に所属。

2018年度卒業生（駒大進学コース）

GK　宮崎　雅崇
青山学院大学　経営学部
★関東大学サッカーリーグ2部
（一般入試　合格）
Wings（篠崎第二中学校）出身

97回選手権では守護神としてチームを全国大会出場に導いた。その一方で受験勉強にも努力して青山学院への進学を勝ち取った

2016年度卒業生（駒大進学コース）

FW　岩田　光一朗
東京学芸大学
★関東大学サッカーリーグ2部
（公募推薦）
大田区立立東調布中学校　出身

上記は『進学実績』の一部分です。本物の『文武両道』を目指して精進しています

駒澤大学高等学校サッカー部『セレクション』・『サッカー体験会』のご案内

駒澤大学高等学校サッカー部では例年、『セレクション』及び『サッカー体験会』を実施していますが、２０２０年度は、現状の社会情勢では例年通りの『セレクション』や『サッカー体験会』を行うことはできません。

（★注意：駒大高校サッカー部は「セレクション」を受けなくても入部することができます）

1. セレクションエントリー

目的	**●セレクションエントリー** 駒大高校サッカー部に興味のある方に『セレクションエントリー』をしていただき、１次選考通過者に対して、練習見学や個別練習参加等のご案内をさせていただきます。 新型感染症対策のための措置になりますのでご理解いただければと思います。 尚、社会情勢の変化によっては、予定の変更や追加もあるのでご承知おき下さい（ＨＰにアップします）。 **【セレクションエントリーの目的】** ●スポーツ推薦候補者の決定⇒学業成績については、「採用基準」をご確認ください ●本校学業推薦基準に到達しうる受験生でスポーツ推薦候補者に準ずる競技能力をもった選手の発掘 ⇒昨年度の学業推薦基準は、３教科（国数英）「１２」かつ９教科「３４」以上です （本年度はまだ未定なので、駒澤大学高等学校ＨＰを注視していただければと思います）
選考内容	１次セレクション：書類選考 ２次セレクション：書類選考通過者との個別対応（チームへの個別練習参加等）
日時	**【１次セレクション日程（書類選考）】** ①第１期　：　応募期間　2020 年 7 月 6 日（月）～2020 年 7 月 26 日（日） ②第２期　：　応募期間　2020 年 7 月 27 日（月）～2020 年 8 月 9 日（日） ③第３期　：　応募期間　2020 年 8 月 10 日（月）～2020 年 8 月 23 日（日） ④第４期　：　応募期間　2020 年 8 月 24 日（月）～2020 年 9 月 6 日（日） ⑤第５期　：　第１期～第４期の状況次第で実施（ＨＰでご確認ください） ※スポーツ推薦については、定員に到達した時点で募集は終了いたします。 **【２次セレクション（個別練習参加等）】** １次選考合格者に対して個別にご案内いたします ※今後の社会情勢等により、実施時期、実施内容が変更となる可能性がございます。
採用基準	**※下記の成績基準は 2019 年度のものになります（2020 年度は未定です）** **(最新の基準は駒澤大学高等学校ホームページにて確認して下さい)** 成績）サッカーの能力を認められ、以下の①もしくは②の成績基準に該当すること **①３教科（国・数・英）評定合計「１０」以上かつ、９教科評定合計「２９」以上** **②５教科（国数英理社）評定合計「１６」以上かつ、９教科評定合計「３０」以上** ※ただし、９教科中に「１」と「２」の評定がないこと 人物に優れ、学校内外において模範的行動をとれる人物 **※３年１学期もしくは２年学年末で上記成績基準を満たしている選手のエントリーを原則とします。** **※スポーツ推薦ではなく、学業推薦、一般入試での入学を希望している選手のエントリーも歓迎しております。**

結果発表	**１次選考合格者**には書類選考実施後、１週間程度でこちらからご連絡いたします
参加申込	以下の①と②の２段階でエントリーをお願いいたします ①仮エントリー 本校サッカー部ホームページ、『申し込みフォーム』より基本的な情報を入力し、仮エントリーを済ませて下さい。 ②本エントリー（書類提出） セレクションエントリーシート（別紙）を駒澤大学高等学校に提出して下さい ※本エントリーが完了した際は、こちらで確認でき次第、エントリー完了メールを送信させていただきます。エントリー確認メールが送られてこない場合はお手数ですが一度、ご連絡ください。 **※『郵送』もしくは『メール』で提出して下さい（ＦＡＸでの申し込みはご遠慮下さい）** **※『メール』の場合はＨＰからダウンロードした申込書を下記アドレスに添付して送って下さい。** **※郵送で間に合わない、メールが送れないといった場合は、下記携帯電話にご連絡下さい。** ※手書きしていただいた書類を写真データ化して送っていただいても結構です。 **〔〆切〕応募期間をご確認ください** **万が一、間に合わない場合は、担当者まで直接お問い合わせ頂ければ対応します。** 〔宛先・お問い合わせ〕〒158-0098 世田谷区上用賀 1-17-12　駒澤大学高等学校 担当：亀田雄人（携帯：070－5011－8704）　ＴＥＬ：03－3700－6131（高校） メール：　komazawa.tokyo.fc@gmail.com
補足事項	※　セレクションエントリーは基本的にどれか１回のみのエントリーでお願いします。「２次セレクション」等で練習参加等をお願いする場合は、別途こちらからご連絡させていただきます。 ※　社会情勢の変化、悪天候、アクシデント等でセレクションの「延期」「中止」「期日変更」等の可能性があります。ご了承下さい。ＨＰをよくご確認ください。 ※『学校見学会・説明会』のご案内。 毎週土曜日、今年度は予約制で行います（詳細はＨＰをご覧下さい）。
採用人数	スポーツ推薦での採用は各学年**８名**（予定） **※スポーツ推薦でなくても入部できます。ほとんどの部員が学業推薦、一般入試での入学です。** ※スポーツ推薦については、定員に到達した時点で募集は終了いたします。 ●学業推薦希望者のエントリーも可能です。 １次選考通過者に練習見学や個別練習参加（社会情勢次第）等のご案内をさせて頂きます。

こんな場合は？？？　～部活動推薦以外での入学･入部～

駒大高校の入試形態は様々なものがあります。サッカー部についても色々な様々な形態から入学し、入部してきます。部活動推薦で多くの選手が入学していると思っている方もいるかと思いますが、駒大高校の場合は部活動推薦で入学できる選手は若干名です。部活動推薦の選手だけでなく、**学業推薦や奨学生として入学してきた選手も多くの選手がレギュラーポジションを獲っています。**

以下に、入試形態の一例を掲載しますので、皆さんの状況に合った選択肢を選んで下さい。

●『学業推薦』『奨学生』関係の場合

本校には「スポーツクラス」はありません。また、「スポーツクラス」などがなく、全員が同じ教室で生活をしている環境が駒大高校の良い部分でもあります。サッカー部の方針も**『文武両道』**を基本にしているため、学力面でも優秀な選手が数多く入部してきます。

部活動推薦で入学できる能力がある生徒でも、あえて部活動推薦ではなく、学業推薦を選択して入学、入部する生徒が多数在籍しています。

入学後の部活動推薦者と学業推薦者の区別も一切ありません。以下のようなケースがあります。

１．成績が推薦入試基準を満たしているので、部活動推薦ではなく、学業推薦で入学し、サッカー部に入部を希望する選手

成績基準については最新の基準を『駒澤大学高校ホームページ』で必ず確認して下さい

（以下、掲載している成績基準は２０１９年度のものです。最新基準は駒大高校ホームページでご確認下さい）

成績基準	３教科（国・数・英）評定合計「１２」以上、かつ、９教科評定合計「３４」以上 ※３教科が上記基準に満たないが、５教科（国数英理社）の評定合計が「２０」以上、かつ９教科評定合計「３４」以上ある場合も可
条件	・９教科中に「１」「２」の評定がないこと ・中学校が発行する公立高校提出用の成績とする
特例１	「３科１１かつ９科３４」「５科１９かつ９科３４」 「３科１２かつ９科３３」「５科２０かつ９科３３」など 上記のように推薦基準にわずかに届かないケースの場合は特例があります この場合は、英検・数検・漢検にて準２級以上を取得している場合は推薦扱いになります。
特例２	①世田谷区中学校在籍者は９教科評定合計に２点加点できる ②目黒区・渋谷区・狛江市立中学校在籍者は９教科評定合計に１点加点できる
☆チャレンジ制度	推薦入試希望者で「９教科評定合計３６以上、かつ、１・２を含まない」受験者は、奨学生入試の受験が可能です。詳細は「http://www.komazawa.net/」でご確認下さい。

２．成績優秀者対象の『奨学生』を希望し、サッカー部に入部希望の選手

※　奨学生は授業料相当額が免除になります（採用時から卒業年度まで３年間を原則）

※　サッカー部には現在、『奨学生』が３学年で１２名います

～毎年サッカー部の奨学生は学年に４～５名です。希望者は増加しています。～

成績基準	３教科（国・数・英）評定合計「１４」以上、かつ、９教科評定合計「４２」以上

３．部活動推薦かつ成績優秀者対象の『部活動奨学生』を希望する選手

成績基準	サッカーの能力を認められ、３教科（国・数・英）評定合計「１４」以上、かつ、９教科評定合計「４２」以上ある場合は、『部活動奨学生』として、授業料相当額が免除される（採用時より卒業年度まで３年間を原則）

★その他の入試形態

●一般入試における第一志望優先制度

推薦基準に満たないが、本校を第１志望で受験する場合、一般入試において「加点措置」を行うことができる。この優遇制度を使って一般入試に合格し、入部する生徒も多いです。

●併願優遇入試　※他校との併願に関して「優遇措置」を設ける制度です

成績基準	９教科評定合計３８以上で３教科中（国数英）に１・２・３を含まない。 その他の６教科中に１，２の評定がないこと。

尚、入試についての詳細は、駒澤大学高等学校ＨＰ

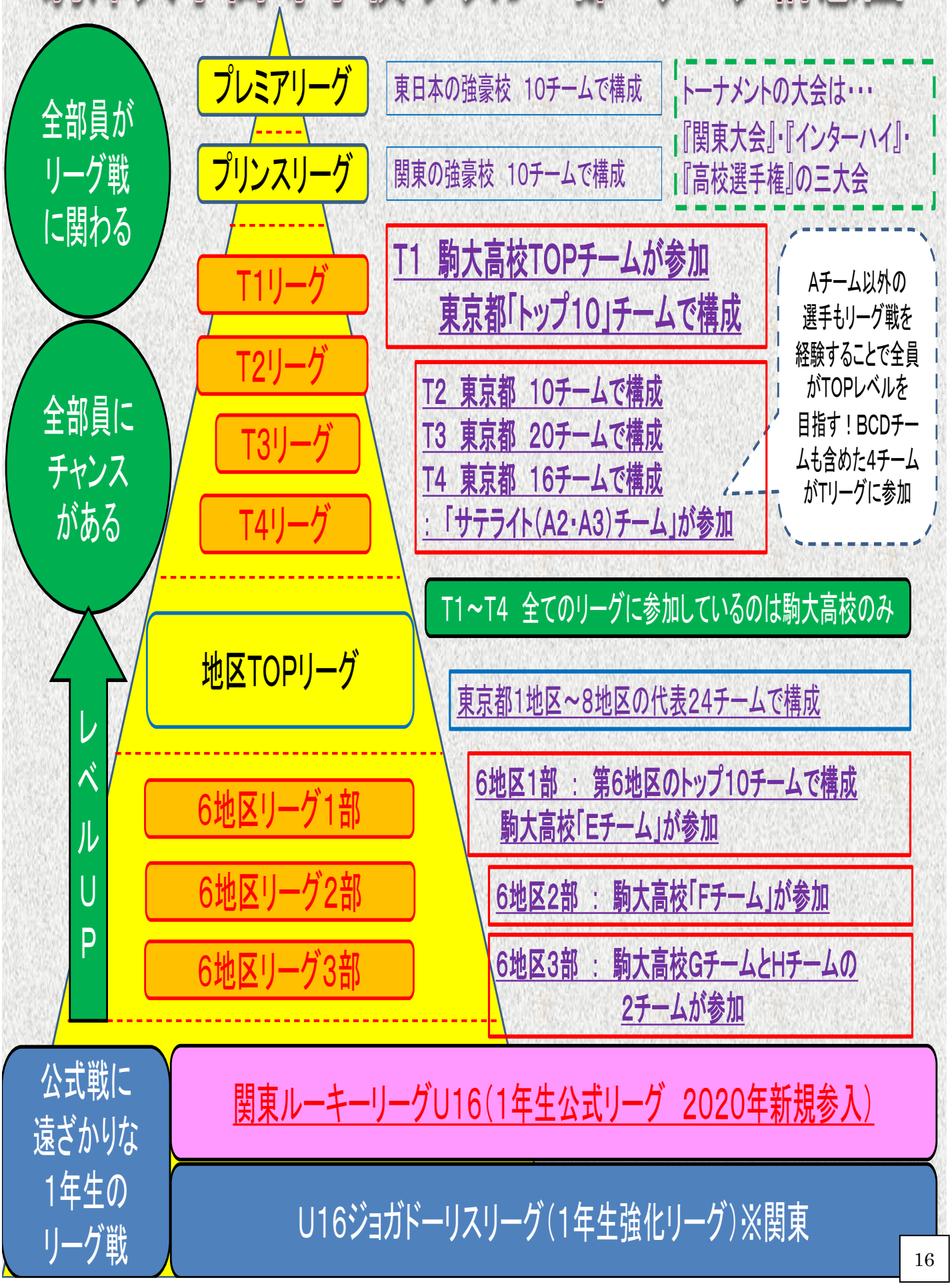
「http://www.komazawa.net/」

成績基準については最新の基準を『駒澤大学高校ホームページ』で必ず確認して下さい
（以下、掲載している成績基準は２０１９年度のものです。最新基準は今年度はまだ未定です）

【お問い合わせ】

新型コロナウィルスの影響で、進学情報がなかなか得られない状況かと思われます。
ご不明な点、詳細をお聞きなりたい方は、ＨＰをご覧いただくか、
サッカー部顧問、亀田雄人
携帯：０７０－５０１１－８７０４　メール　komazawa.tokyo.fc@gmail.com
まで直接お問い合わせ下さい
（サッカー部以外のご質問、入試基準等もお気軽にお問い合わせ下さい）

駒澤大学高等学校サッカー部　リーグ構想図



駒澤大学玉川校舎案内図

駒澤大学玉川G（世田谷区宇奈根1－1－1）

二子玉川駅バスターミナルより

東急バス　二子玉川～砧本村（玉06）・砧本村下車　徒歩30秒
東急バス　二子玉川～成城学園前（玉07）・鎌田下車　徒歩5～6分
小田急バス　二子玉川～成城学園前（玉07）・鎌田下車　徒歩5～6分

※駒大高校から自転車で約15分（生徒たちは自転車を学校に置いています）



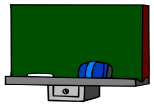
三軒茶屋方面
小田急
成城学園前駅方面
世田谷通り
町田方面
用賀・瀬田方面
旧国道246
川崎方面
東急田園都市線
二子玉川駅
バス乗車場
各社バスターミナル
高島屋デパート
不二家
東急・小田急
鎌田バス停
吉沢橋交差点
多摩堤通り
天神森橋交差点
東急・小田急
バス停
砧農協
駒澤大学
玉川校舎グランド
東急バス
砧本村
多摩川
多摩川

※車でのご来校と駒澤大学玉川校舎への
問合せはご遠慮ください。

サッカー部から受験生にアドバイス

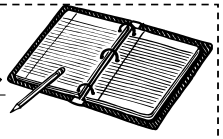
「部活動」と「勉強」を両立させるには？

初めての中間試験が終了し、部活動も再開されました。1年生はここから
「部活動」と「勉強」の両立に悩むことが出てくると思います。
駒大高校は、「勉強」も「部活動」も『両方頑張れる』ところが良いところです。
皆さんにも文武両道を高いレベルで実践してもらいたいと思います。



「勉強」と「部活動」の両立に悩んでいる人にアドバイス・・・
『勉強』も続けていくことでだんだん力がついていきます。
『部活動』も練習していく中でだんだん力がついてきます。
それと同じように、
『文武両道』も訓練次第で、だんだんレベルアップしていきます。
いま苦しくても、諦めないで考えてみて下さい！
そこで・・・
あるクラブの上級生から**『文武両道のためのポイント・コツ』**を聞いてみました。
皆さんの実情に合わせて、参考にしてみて下さい。

1. いつ勉強してますか？



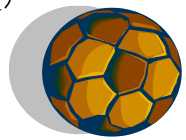
～「勉強する時間がない！」と思っているあなたへ・・・～

- **電車**の中を勉強部屋にしている（多数）**※電車の中は英単語**
- **帰宅直後**に少しだけでも勉強する（多数）　**などと決めている**
- 「**寝る前**に30分～1時間は必ず勉強する」と決めている（多数）
- **平日の朝**に7：00～8：00に登校して、少しずつ勉強している
- 部活がある日は、帰ってから無理に勉強せず寝て、朝7：30から育習棟で勉強
- **朝のホームルーム前の時間**を毎日使えば、かなりの時間、勉強できる
- 早朝や電車では一切やったことはなく、自宅でしか勉強してません。
  その代わり、**授業中にものすごい集中して勉強**しています。
- 夜はやらずにやっても22時まで。「朝と22時まで」と時間を決めている
  （時間を決めてやった方が集中できる）・22時～24時までの「2時間」、勉強してる
- 休日部活動が午前中で終わった時などは、午後は必ず勉強している
- 授業と授業の間の**「10分休みの活用」**
- **昼休み**を有効活用している　・部活までの待ち時間を有効活用
- 学校の休み時間に課題や宿題は積極的にやっている
- 通学中の電車の中は「勉強できる時間」になっている（プラス思考）
- やると決めた時に**「すぐ」やる**（**『切り替え時間ゼロ』**がポイント）

2. どうやって勉強してますか？

～「勉強の仕方がわからない！」と思っているあなたへ・・・～

- **「書く」**ことを大切にする（input のために **output** を大切にしている）
  ⇒見ているだけじゃ覚えられない（友達と問題を出し合ったりする⇒記憶に残る）
- 参考書やノートを理解できるまで**何度も読んだり、書いたりしている**
- **声に出して覚える**ようにしている
- 重要な語句はルーズリーフなどに**何度も何度も書く**
- 特に「記憶系」は1週間前からだと厳しいから**2週間前から勉強**する
- その日の授業で書いたノートを見直して復習している
- 暗記物などは机がなくてもできるので、**電車の中や寝る前を有効活用**
- **まとめノートを作成**している
- 問題集は2～3周解く　・提出する課題はなるべく早めに終わらせる
- 授業中から、**試験前に勉強しやすいように工夫してノートをとっている。**
  （ノートをきれいに作った方が勉強が進む。（多数））
- **板書以外のことを聞く（メモする）**ようにしている
- 計算系は何回もやり直して、やり方を覚える
- 教科毎に時間を決めてやっている
- 朝、勉強する際は、その日の授業の予習をしている
- 夜にその日の授業の復習をしている
- どうしても眠いときはタイマーをセットして寝て、決めた時間に起きて勉強する
- 読んだり、**見ているだけでは、絶対に覚えられないので、何の紙でもいいので、かなり書いている**
- **赤シート**を使う
- 暗記は「見る」⇒「読む」⇒「書く」を徹底して繰り返す
- **自主学習ノートを作成し、「声に出しながら書く」**
- **計画的に勉強**している
- 授業用のノートとは別に**「テスト用」のノートを作り直している**





以上をまとめると・・・

①24時間、365日は人間に平等に与えられた時間です。
ポイントは、その**時間を「どのように使うか？」**です。
文武両道を実現している生徒は皆、「時間の使い方」が上手な人
でした。無駄な時間を省き、**「隙間時間」**を有効に使い、
「勉強する時間」を自分で生み出している人でした。



②有効な学習のためには、**「たくさん書く」「声に出す」**といった
『output』することがポイントであることもわかりました。
覚えようとするのであれば、自分の頭の外に出さなければ
ならないということですね。

裏面には、『受験生へのアドバイス』を掲載しました！！

3．文武両道のために具体的に実践していることはありますか？

～「文武両道のために何をしたらいいかわからない」と思っているあなたへ・・・～

【家庭学習　編】



①毎日、**「少しの時間で良いから勉強する」**と決めている
②帰宅後、**どんなに眠くても必ず一度机に座る**ようにしている（どんなに疲れて、眠くても、少しでもいいから勉強する習慣をつける）
③TV、SNS、ゲームなどに使う時間で勉強する
④携帯電話は見えない所に置いておく（**無駄に携帯は使わない**）
⑤練習は全力でやり、帰宅後、ご飯を食べると眠くなってしまうので、**帰宅直後にまず少しでも勉強**してからご飯や風呂をすませて、すぐに寝る
⑥**睡眠時間をしっかり確保**している
⑦**徹夜はしない**（徹夜してしまうと頭の中が整理されない）
⑧やる気が出ない時は簡単な事から

【学校　編】



①**「朝学習」**を大切にしている
②なるべく**「授業中に理解」**するようにしている（多数）
③とにかく授業中集中する（理解しながら授業を受けることを徹底）
④**授業は一番の勉強時間**なので、ノートを書くことに一生懸命にならず、先生の話を聞いてポイントをおさえる
⑤授業が終わった後の**「１分間復習」**をやっている（休み時間を大切にしている）
⑥**「課題」はなるべく学校で終わらせる**ようにしている（とにかくすぐに手を付ける）（課題はもらったその日にやる）
⑦「わからない」ことはわからないままにせず、授業後にすぐに先生に聞きに行く

【タイムマネジメント編】

①時間を有効に使う
（隙間時間の『超』有効活用）
※移動中や部活までの待ち時間は**「すき間時間」**が多くあるとプラスにとらえて有効活用する
※そのためにも、やることを常に用意している



②**「移動時間」**を絶対に無駄にしない。
そして移動は素早く！
③部活が始まるまでの時間に勉強している
④授業がいきなり自習になっても大丈夫なように、問題集を携帯している
⑤時間を決めて勉強する



【その他】



①**短時間集中！**
（だらだらやるより、短時間で集中してやった方が良いと思う）
②部活は部活、勉強は勉強でメリハリをつける（多数）
③息抜きやリフレッシュは「勉強の合間」に入れている
④何のために勉強するのか考えている
⑤試合中は絶対に寝ないので、授業中も寝ないように決めている。
⑥試合中や部活動の集中力を上げるためにも授業中で集中力を磨いている
⑦１日に「勉強」と「部活動」を必ずやるようにしている

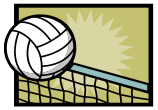
4．受験生に対して高校生からアドバイス



・成績は**自分次第**で大きく変わるので、**どれだけ勉強するか**が大切です！
・**少ない時間でもまず「やる」ことが大切！**
・早めに勉強しておけば、テスト前に焦らなくてすむので早めにやろう！
・試験勉強は、２週間前から始めた方が、直前に詰め込まなくてすむ！
・２年生になっても１年生の内容が入ってくるので、**試験後の復習**も忘れずに！
・はじめは、きつくて本当に大変だと思うけど、**夏休み明けには慣れてくるし、体力もついてくると思うので、「朝型」でも「夜型」でもいいので、自分の生活スタイルを確立**して下さい！（習慣になったらこっちのものです！）



・２、３年になってから**「１年生の時にもっとやっておけばよかった」**と思うので、今のうちからしっかりと頑張っておくこと
・最初は評定２．３くらいで、学年順位も４５０位でした。でも、自分の現状に気付き、真剣に勉強していたら、３０位まで成績が上がりました。１年生も今から頑張って下さい！！
・駒大の推薦をもらうためには、１年時の成績も大事なので、なるべく１年時に頑張っておくことがオススメ**（３年生になるとみんな頑張ります）**
・上級生になっていくと勉強が難しくなってきて、基礎がしっかりできていないと苦労するので、**１年生の基礎の勉強は本当に大切**です。
・まずは**簡単なことでもいいからリズムを作っていくことがポイント**です。
・高校生になって、教科数も増えて各教科のプリントなどの管理が大変になってくると思うので、ファイルでしっかり管理するのが良いと思います。



・**宿題などをメモできるようなノートを用意**するといいと思います！
・部活動も勉強も**「高い目標」**を持ってください！
・後から後悔するようなことがないようにして下さい！
・高校生の勉強になり、難しくなると思いがちですが、自分の頭も確実に高校生になっているので必ず理解できます。理解できないことは先生に聞きにいきましょう！
・勉強した分だけ、結果はついてくるので、頑張って下さい！！
・**自分のオリジナル勉強法**を身につけることが一番大切です！
・中学時代と比べて、勉強も部活もハードになるので、最初の頃は、予習・復習というよりも、**５０分という授業をしっかりと集中**して取り組むことから始めましょう。
・「文武両道」。「文」＝「武」なのであれば、「文」が大きくなれば「武」も大きくなる。比例関係だと考えている。
・**「文」が「武」を助け、「武」が「文」を助ける**と思います。両方頑張って下さい！！
・最初は生活にも慣れないと思いますが、まずは授業中寝ないで頑張ることを最低ラインに、授業中に集中できるところまで上げていって下さい！
・目標を決めてから勉強に取り組むとやる気が出てくる　・トイレが意外と集中できる？？？

最後に・・・

『部活動と学業・生活は確実につながっている』

部活動で身につけた集中力や努力する姿勢は必ず勉強にも生かすことができます。勉強を通じて身につけたものも同じように必ず部活動に生かすことができます！悩むということは実現させようと思っている証拠！！頑張ってやっていこう！！

『文武両道』を高いレベルで実践できるように頑張りましょう！！

第94回全国高校サッカー選手権大会（2015）

駒澤大学高等学校サッカー部は、2015年、**第94回全国高校サッカー選手権大会**において、**東京都大会にてAブロックを制覇**し、**2度目の東京制覇！**続く全国大会では、創部以来初の**全国Best8**に輝いた。
駒大高校の選手権初出場は6年前に遡る。2010年、第89回大会で創部45年目にして**全国大会に初出場**し、全国の強豪、**大津（熊本）**、**星稜（石川）**を撃破し、**全国Best16**という結果を残した。
第94回大会は2度目の選手権挑戦となり、経験を生かして前回大会を超える活躍が期待された。この大会も**開幕戦**を引き当てた駒大高校。高校サッカーの聖地「国立競技場」が改修工事に入っているため、オープニングゲームは、地元世田谷区駒沢にある**「駒沢陸上競技場」**。開会式直後に行われた試合には**14,000人の大観衆**。その多くは**地元「駒澤」**を応援してくれた。大観衆に見守られた駒大高校は、激戦区大阪を制した**「阪南大高」**と対戦。それまで縁の下でチームを支え続けた**キャプテン深見、竹上の「3年生」**が立て続けにゴールを決め、開幕戦勝利を飾る。





続く2回戦。福島の強豪、**「尚志高校」**にPK戦の末勝利し、唯一の連戦となる3回戦も愛媛代表の**「松山工業」**に逆転勝ちし、ついに**Best8進出**。準決勝の相手は**夏の覇者「東福岡高校」**。間違いなく高校サッカーの頂点にいる学校との対戦。1点を争う好ゲームであったが、力及ばすに敗戦となった。しかし、**駒大高校サッカーぶにとって創部以来初の全国Best8**に輝き、はっきりと爪痕を残して94回大会を終えた。
尚、今大会、駒大高校からは**FW深見侑生(FC東京U-15深川)**、**DF佐藤瑶大(FC多摩JY)**が**大会優秀選手**に選出された。



【東京都大会】

1回戦	vs 中大附属杉並高校	○ 4－1
2回戦	vs 都立駒場高校	○ 5－0
準決勝	vs 都立東久留米総合高校	○ 1－0
決　勝	vs 堀越学園高校	○ 2－0

【全国大会】

1回戦	vs 阪南大学高校(大阪)	○ 2－1
2回戦	vs 尚志高校(福島)	○ 0－0 (PK3－0)
3回戦	vs 松山工業高校(愛媛)	○ 2－1
準決勝	vs 東福岡高校(福岡)	× 0－1



【応援の力！】
全国大会でも高く評価された駒大高校サッカー部の応援！ピッチに立てない部員も、一生懸命声を枯らして応援し続けた。日に日に増えて行く駒大高校ファンと共に大応援が選手を後押ししたことは間違いない！この応援も駒澤のストロングポイントだ！



記入例　セレクションエントリーシート

駒澤大学高等学校サッカー部

フリガナ	コマザワ　イチロウ			生年月日								
生徒氏名	駒澤　一郎			西暦	1998	年	4	月	8	日		
住所	〒	158-8577	※住所・電話番号は結果通知の際に必要になります									
	東京都　世田谷区　上用賀　1ー17ー12											
	駒澤マンション　101号室											
電話番号	自宅	03ー3700ー6131		携帯	本人・保護者　どちらでも可							
メール	本人・保護者　どちらでも可			＠	（.）（－）（_）記号などハッキリ記入して下さい							

中学校名	世田谷	区(市)立	大野	中学校	所属チーム	FC　KAMEDA	
フリガナ	オオノ　ショウジ				フリガナ	カメダ　ユウト	
担任氏名	大野　祥司				代表者名	亀田　雄人	
中学校TEL	03ー○○○○ー○○○○				クラブ連絡先	03ー○○○○ー○○○○	

学習成績（3年1学期の成績を記入）※成績が出ていない場合は2年時最終成績を記入し「二年時」欄に○をつけて下さい

教科	国語	数学	英語	理科	社会	音楽	美術	保体	技家	3科合計	5科合計	9科合計	二年時
評定	4	5	3	4	4	3	4	5	3	12	20	35	○

身長	175	cm	体重	65	kg	両親の身長	（父）	180	cm	（母）	160	cm

ポジション	FW、MF
（左右等詳しく）	主に右サイド

利き足	右	50m走	6.5秒	100m走	12.9秒	1500m走	4分30秒

サッカー歴	小学校3年生から　○○サッカークラブ　⇒　○○中学校サッカー部						
選抜・代表歴（※中2まで）	東京都第○地域トレセン						
選抜・代表歴（※中3）	東京トレセンU－15						
所属チームで	レギュラー	○	サブレギュラー		控え		※1つ「○」を付けて下さい
チーム最高成績							
所属チームでの背番号	9	番					

本校が第1志望かどうか？また、他校のセレクションを受けているか、又はこれから受けるか（高校名、合格校などを記入）等

駒大高校が第一希望。　○○高校合格。　○○高校のセレクションも受ける予定　など

プレーの特徴（長所と短所を含めて記入して下さい）

人物的特徴（長所と短所を含めて記入して下さい）

自己アピール等

【エントリーおよび参加承諾】以下の内容についてご確認下さい。

1. ご記入頂いた個人情報につきましては、本校サッカー部関係者以外の第三者には公表いたしません。
2. 移動中、練習参加中に起こった怪我等の事故、盗難については一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。（応急処置は致します。）
3. 練習参加にあたっては、必ず所属チーム責任者、中学校担任教諭等に参加の旨を伝えて下さい。

上記の内容を了承し、エントリーすることを承諾いたします。（※項目2．と3．については2次セレクション対象者）

保護者氏名	駒澤　太郎

送信先　メール：komazawa.tokyo.fc@gmail.com

郵送　：〒158－8577　世田谷区上用賀1－17－12　駒澤大学高等学校　亀田雄人　宛

セレクションエントリーシート

駒澤大学高等学校サッカー部

フリガナ 生徒氏名		生年月日 西暦 年 月 日	
住所	〒	※住所・電話番号は結果通知の際に必要になります	
電話番号	自宅	携帯	
メール		＠	

中学校名	区(市)立	中学校	所属チーム		
フリガナ 担任氏名 中学校TEL			フリガナ 代表者名 クラブ連絡先		

学習成績（3年1学期の成績を記入）※成績が出ていない場合は2年時最終成績を記入し「二年時」欄に〇をつけて下さい

教科	国語	数学	英語	理科	社会	音楽	美術	保体	技家	3科合計	5科合計	9科合計	二年時
評定													

身長		cm	体重		kg	両親の身長	（父）		cm	（母）		cm	

ポジション （左右等詳しく）	

利き足		50m走		100m走		1500m走	

サッカー歴							
選抜・代表歴 （※中2まで）							
選抜・代表歴 （※中3）							
所属チームで	レギュラー		サブレギュラー		控え		※1つ「〇」を付けて下さい
チーム最高成績							
所属チームでの背番号		番					

本校が第1志望かどうか？また、他校のセレクションを受けているか、又はこれから受けるか（高校名、合格校などを記入）等

プレーの特徴（長所と短所を含めて記入して下さい）

人物的特徴（長所と短所を含めて記入して下さい）

自己アピール等

【エントリーおよび参加承諾】以下の内容についてご確認下さい。

1．ご記入頂いた個人情報につきましては、本校サッカー部関係者以外の第三者には公表いたしません。
2．移動中、練習参加中に起こった怪我等の事故、盗難については一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。
（応急処置は致します。）
3．練習参加にあたっては、必ず所属チーム責任者、中学校担任教諭等に参加の旨を伝えて下さい。
上記の内容を了承し、エントリーすることを承諾いたします。（※項目2．と3．については2次セレクション対象者）

保護者氏名	

送信先 メール：komazawa.tokyo.fc@gmail.com
郵送 ：〒158－8577 世田谷区上用賀1－17－12 駒澤大学高等学校 亀田雄人 宛